

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子  
ほかほか花 「あったか言葉」をつかう子  
きらりん花 キラキラと自分らしく輝く子

## 進学・進級に向けて、しめくくりの月

西部小学校の桜の芽が、気温の上昇と共にふくらんできました。平成30年度もいよいよ締めくくりの日を迎えます。

3月18日には76名の卒業生が西部小学校を巣立っていきます。卒業文集には、これまでの行事や取組を通して得た経験や、失敗から学んだこと、それを支えてくれた友達や先生への

感謝の気持ちが素直な言葉で書き綴られていました。一人一人の丁寧な文字からもしっかりとした成長を読み取ることができました。卒業式では6年間の小学校生活の集大成として立派な姿を見せてくれることでしょう。また、式に参加する在校生も6年生の立派な姿を見て西部小学校の素晴らしい伝統を引き継いでくれるものと期待しています。

さて、平成30年度を振り返って、お子さんはどんな成長が見られたでしょうか。喜びや楽しい体験だけでなく、辛く困難と感じられることや失敗もあったことと思います。自分の力で乗り越えたこともあるでしょうが、多くは友達に協力してもらったり、先生

に教えてもらったり、家の方に認めてもらったりしながら、少しずつ成長を積み重ねてきたことでしょう。4月の進学や進級に向けて、自分の成長を振り返り、今後の目標を考えて残りの3月を過ごしてほしいと思います。ご家庭でもお子さんの成長を共に喜び、励ます場をもってください。

(校長 清田 秀夫)



## 西部小学校に文部科学大臣表彰

今年もご家庭や地域の方々にご理解とご協力をいただき、教育活動を充実させることができました。特に今年度は、学習に新聞を活かして社会に目を向けたり、地元企業や商店、農家の方などから、仕事の内容や働きがい等について勉強させていただいたりしたことが評価され、文部科学大臣からキャリア教育優良校として表彰されました。ご支援いただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も西部小学校の子供たちのよりよい成長のため、ご協力お願い致します。



# 平成30年度もクワイマックス

## 年度末大掃除

## 受賞伝達



今年は教育振興会で新しいモップ（写真）を購入して頂き、効率よくきれいにワックスを塗ることができました。本当にありがとうございました。



書初、図画、将棋、夢作文で入賞された子供たちの受賞披露を行いました。ビーチボール・シャイニーズは富山県大会で優勝。お見事です。

## スマイルプロジェクト



6年生が在校生のために大縄跳び大会や宝探しゲームを企画したり、慣れ親しんだ校舎を一生懸命きれいにしたりしました。6年生ありがとう。

## 感謝のつどい





6年生が先生方に感謝の気持ちを表したいという思いを込めて、一緒にゲームやクイズを楽しみました。手紙の朗読もあり素敵な会となりました。

## 卒業記念品授与式・運動会優勝旗贈呈式



卒業生にPTA、教育振興会から卒業記念品が授与されました。またPTA、児童クラブ、教育振興会のご協力でも新調された運動会優勝旗が寄贈され、黄団団長が受け取りました。ありがとうございました。卒業生のみなさん、いよいよお別れの日が近づきました。中学校へ行って自分らしく頑張ってください。

### <学期末及び新学期当初の主な予定>

- 3月18日（月）卒業式 
- 3月22日（金）修了式 
- 3月25日（月）～4月3日（水）学年末休業（春休み）
- 3月28日（木）離任式（いつもより1時間遅れで登校）
- 4月4日（木）始業式（※新3年、新5年のみ新学級編制）
- 4月5日（金）入学式
- 4月8日（月）給食開始、全校集団下校
- 4月20日（土）学習参観、教育振興会・PTA・児童クラブ定期総会（児童は弁当持参）

### <お知らせ>

図書室の本がすべて返却されておりません。家にそのままになっていないでしょうか。ご家庭で一度確認をお願い致します。

## 平成30年度 アクションプランのまとめ

### (1) 学習定着部会

☆望ましい学習習慣を身に付けるために、読書に親しむ子供80%以上を目指す。

<p>取り組んだこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の読書タイムに読む本を用意しておいて、時間いっぱい読めるようにしたり、空いた時間にも読書を勧めたりした。また、読み物の本だけではなく、授業で使う資料や関連図書、新聞記事からも読みたいと思うものを選んで自由に読める環境を整えた。</li> <li>学級によっては、図書室へ行く時間をこまめに設け（授業の終わりごろや帰りの会の前等）、日頃から書物を手にする機会を増やすようにした。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>児童 読書カード記入状況</p> </div> <div style="text-align: right;"> </div>
<p>最終評価 <b>A</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館から学年に応じた内容の図書を借りて学年のコーナーに置いておいたところ、手にとって読む子供が増えた。読書しやすい環境を整えたことがよかった。</li> <li>読むだけではなく、読んで思ったことや考えたこと等を書いたり紹介したりして表現することへつなげていけるよう、これからも工夫していきたい。</li> </ul>
<p>考 察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読む際に、内容を把握する、要約することができているのかどうかは個人差がある。しかし、朝の読書や読み聞かせ等を通して書物に触れたり、新聞記事を活用して文章を読む経験を増やしたりしたことで、読むことに対する抵抗が小さくなった子供が増えたと感じる。</li> <li>主体的に書物に触れる子供を増やすためには、子供自身が目標を設定し、学年の目標と照らし合わせながら前向きに読書に取り組めるようにするとよいと考える。</li> </ul>

### (2) 「あったか言葉」定着部会

☆挨拶についての目標を達成する子供が80%以上を目指す(自己評価)。  
 ☆学校や友達のためになる仕事を自分から探して取り組むことができる子供が80%以上を目指す。




<p>取り組んだこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の子供たちが毎朝、児童玄関・正面玄関で挨拶運動をしている。</li> <li>委員会の子供たちが、朝、昼の全校放送で、心のこもった挨拶について具体例を挙げて紹介している。</li> </ul>
<p>最終評価 <b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの挨拶がよくなったと評価する教員が増えた。担任以外にも挨拶や会釈ができる子が以前より増えてきたと思われる。特に6年生の成長が大きい。</li> <li>昼の挨拶の自己評価が低いので、会釈が広まるように呼びかけている。</li> </ul>

考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員に呼びかけ、体育や音楽等特別教室への往復は教員が引率して、周囲に配慮した静かな移動や挨拶・会釈の手本を示すようにしたので、授業中の歩き方はよくなってきた。</li> <li>・黙働清掃、休み時間の廊下の歩き方等教師の前だけ行う子供が多く、まだ心に響く指導ができていない。他者を思いやり仕事を見付けて進んで取り組んだりできる子供の育成を目標としているので、挨拶を窓口として心が育つ指導をしていきたい。</li> <li>・子供と触れ合っている時間は保護者が一番長い。保護者と協力して指導するために、挨拶に対する学校の考え方を保護者に呼び掛けていくことが大切である。</li> </ul>
-----	---

### (3) 心と体の健康づくり部会

☆「運動、身体を動かす遊びが好きである」と答える子供が全校の70%以上を目指す

取り組んだこと  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>なかよしタイム</b>には、初めの10分を活用し全校鬼ごっこを行った（各学級から鬼を2名出し、先生方も参加）。短い時間ではあるが外に出て、全校で身体を動かす時間をもつことができた。</li> <li>・<b>持久走大会</b>では、試走を行い、自分の目当てをもって本番を行うようにした。持久走週間を設け、記録カードを工夫した。子供たちの目標の一つとなるように各学年の結果は、11月のオープンスクールで掲示し、きらりん集会で名前、タイムを紹介した。</li> <li>・<b>1000走</b>では、自分の成長、変容を実感することができるように、4月、9月初めの自分の記録をとり、具体的な目当てをもって運動会に臨めるようにした。</li> <li>・運動委員会が学校の体力の弱点強化のために提案した<b>準備体操</b>を各学級少しずつ取り入れている。</li> <li>・<b>学校保健委員会</b>では、メディアの危機から自分の心と身体を一人一人が守ることができるように、KDDIから講師を招き、危険からの身の守り方を学んだ（低・中・高）。メディアコントロールチャレンジカードを活用し、学校保健委員会後、冬休み中、冬休み明けの3回、家庭との連携を図りながら、子供たちの生活習慣やルール作りの実態把握を行った。家庭にどんな約束、ルールが必要かを考えてもらうため、具体的に提案し、選べるようにした。個別懇談会の話題として取り上げ、特に配慮が必要な子供に対する指導の仕方を保護者と話し合うことができた。</li> </ul>
最終評価 <b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動、身体を動かす遊びが好きである」 合計 81%</li> <li>1年 75% 2年 87% 3年 84%</li> <li>4年 84% 5年 76% 6年 85%</li> </ul>
考 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしタイムは、活動が少しマンネリ化し、受け身になっている実態も見えているため、活動の工夫が必要である。</li> <li>・振り返りカードを工夫し、複数回記録を取り、目当てをもたせるようにしたことで子供たちは具体的な目当てをもち前向きに取り組むことができた。</li> <li>・努力や忍耐力が必要な持久走では、楽しめた子供の割合は全体的に低めである。最後まで頑張り抜く、目当てをもって最後まで頑張ることを、教師がしっかり価値付け、子供たちが頑張る楽しさ、達成感を味わえるようにしていきたい。</li> <li>・子供たちの生活がかなりメディアに影響を受けている実態が見えてきた。子供たちが自分自身で危機管理や自己コントロールができるよう、今後も家庭との連携をして、継続して指導、支援をしていく必要がある。</li> </ul>

